

第1回定例会・山脇議員の反対討論



企業誘致より地元中小企業の振興を

米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

山脇議員の反対討論

予算は住民生活を優先すべき

2月22日にはじまった2019年第1回定例会は、3月22日で終わりました。議案27件が採択されました。山脇議員は、2719万円の大企業向けの「工場等設置・雇用促進奨励金」が予算化されている「一般会計予算案」と「米原市工場等誘致条例の一部を改正する条例案」に反対討論をしました。

(1) 一般会計予算案

一般会計予算については、過去最大の予算規模となっているものの、統合庁舎整備費を除けば、昨年度比でマイナス予算となっており、依然厳しい財政運営が強いられている。このなかで、財源は、広く生活領域のところに再配分していくことが求められる。いま必要なのは、少子高齢化による、人口減を防ぎ、増に転じる政策であることは周知のとおりだ。その最大の施策は、第1に、住民の生活の土台をつくることである。

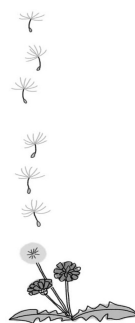
人口減を防ぐ施策の第2は、ひとりも取り残さない貧困化対策である。市長は今年度子どもの貧困問題についての調査を行うと声明している。しかし、予算全体を見ても、必ずしもその点ははっきりしていない。重点取組に、貧困化対策をしっかりと位置付けるべきである。

企業誘致条例は効果があるのか

(2) 米原市工場等誘致条例の一部を改正する条例案

この条例は、市内での工場等の新設または増設に對

する奨励措置の期限を5年間延長し、「産業の振興および雇用の促進を図るため」に提案されるものだ。そのために、2719万円の大企業向けの「工場等設置・雇用促進奨励金」が予算化されている。しかし、「雇用の促進」を謳いながら、年間6名の市民の雇用しかなかったというではないか。まったく税金の無駄遣いといってもいい。また、工場を新設または増設しようという企業は、十分な調査をしてやってくる。だから、儲からないとわかれば、情け容赦なく撤退していく。企業への奨励金が、必ずしも「産業の振興」に役立つとは言いえない。条例改正に値する成果の検討がなされたのか、疑問だ。このように、費用対効果などがはっきりしない事業に、貴重な予算を年間2719万円も使うことは、大いに問題で、市民の生活や活動に振り向けるべきである。



で、地域をもっと元気にするという政策である。県内では、県と3つの市町で中小企業振興基本条例が定められ、中小企業振興の取り組みが行われている。これに對して、米原市では、工場等誘致条例の

議員名	会派名	2019年度一般会計予算	工場等誘致条例の一部を改正する条例
山脇正孝	無会派 (日本共産党)	×	×
磯谷 晃	清風クラブ	○	○
鹿取和幸	清風クラブ	○	○
後藤英樹	清風クラブ (自民党)	○	○
鏑田 明	清風クラブ	議長	議長
田中眞示	清風クラブ	○	○
矢野邦昭	清風クラブ	○	○
中川雅史	政策研究会マイバラ	○	○
西堀 幸	政策研究会マイバラ	○	○
堀江一三	政策研究会マイバラ	○	○
山本克巳	政策研究会マイバラ	○	○
吉田周一郎	政策研究会マイバラ	○	○
今中力松	創政クラブ	○	○
北村喜代隆	創政クラブ	○	○
澤井明美	創政クラブ	○	○
中川松雄	創政クラブ	○	○
松宮信幸	創政クラブ	○	○
細野正行	無会派 (公明党)	○	○
結果		可決	可決